

今後の取組みに向けた検討及び スケジュールについて

令和元年10月31日
第2回大阪府外国人医療対策会議
大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課作成

1. 外国人医療体制の構築～関係者間の連携・実態把握に向けた取り組み

大阪府外国人医療対策会議等の継続実施

- 令和2年度も引き続き大阪府外国人医療対策会議、大阪府外国人患者受入れ拠点・地域拠点医療機関連絡調整会議を実施。実施回数については今後の検討。



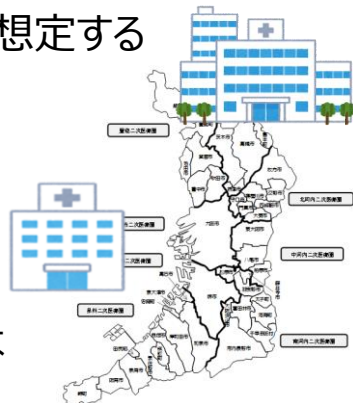
大阪府外国人患者実態調査の継続実施

- 外国人患者受入れ実態調査についても継続実施を検討。調査内容については厚生労働省実施の全国調査の来年度の実施予定を鑑みて検討。



大阪府外国人患者受入れ地域拠点医療機関の追加選定

- 府拠点については、大阪府の想定する一定数を満たしたと考え追加募集は想定しない予定。
 - 地域拠点については全国募集のタイミングで追加選定募集を実施予定。
- ※国の追加募集は現時点では未定



大阪府医療機関情報システム改修による外国人患者受入れ医療機関情報の発信

- 令和元年度医療機関悉皆調査を受けた情報精査の結果、現在約7千カ所ある多言語対応可能な医療機関から、外国人患者を受け入れ可能な医療機関を絞り込み



システム上の検索機能もバージョンアップし
情報発信【令和2年1月から順次情報更新し、
4月以降に完了予定】

2. 医療機関への支援に向けた取り組み

大阪府多言語遠隔医療通訳センターの継続実施、対応言語・対象範囲を検討

- ・令和元年度試験的にベトナム語・タガログ語の2言語を追加し、その利用状況等を鑑み来年度以降の本格実施を検討
- ・現在のサービス対象範囲
 - 救急告示病院約300カ所
 - 措置入院患者受入病院20カ所
 - 夜間休日診療所約50カ所
 - 大阪府外国人患者受入れ拠点、地域拠点医療機関30カ所のうち登録のあった医療機関の利用状況、関係者からのニーズ等を鑑み、対象範囲の拡大を検討

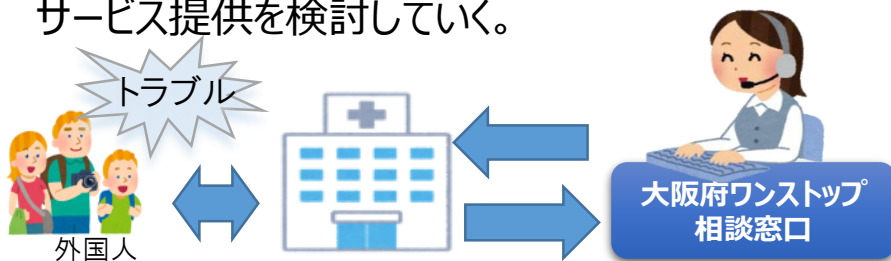
24時間対応



通訳センター

外国人患者受入れワンストップ窓口の継続運営

- ・来年度以降も引き続き事業継続予定。
- ・今年度の利用実績、対応状況を参考により良いサービス提供を検討していく。



拠点・地域拠点医療機関に向けた外国人患者受入れ支援策を検討

- ・拠点・地域拠点医療機関に向けた支援策としては厚生労働省実施の拠点・地域拠点医療機関対象の各種補助事業を検討。

【例】

医療機関における通訳機能等を備えたタブレット端末等の整備事業

3. 今後のスケジュール

- R1
11月
- ・11月1日ワンストップ窓口新設、遠隔通訳センターに2言語追加
 - ・大阪府外国人患者受入れ拠点・地域拠点医療機関向け調査の開始（～R2.3月）
- 12月
- ・12月初旬目途：実態調査中間とりまとめ（調査票A・Bについて）
 - ・12月16日 実態調査調査票B締切
- R2
2月
- ・2月中：実態調査最終とりまとめ
- 春頃
- ・大阪府地域拠点医療機関の追加選定の可能性（今年度と同様のスケジュールの場合）
- 夏～
秋頃
- ・令和2年度大阪府外国人医療対策会議